

(公表用)

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」(平成25年度採択)

事後評価結果

番号	研究名	研究代表者	評価
25-3	事故発生位置情報を用いた事故分析総合システムの研究開発	東京大学 特任教授 山田 晴利	A

<研究の概要> ※成果報告レポートより引用

交通事故位置情報の品質管理、沿道の建物用途、土地利用、プローブデータ、天候等と連携した多角的、複合的な事故分析を任意の地点・地域で行えるようにするため、事故データの品質管理から分析までを実行できる総合的な事故分析システムを新たに開発することを目的とし、さらに事故発生場所の経度・緯度情報を使った事故分析を実施する研究開発。

<事後評価結果>

道路管理者からの要望に沿ったデータベースの構築、交通事故の要因分析に必要なGISデータの作成を行うとともに、丁寧な空間統計分析を行い、実務への利用可能性を示したことは有用であり、研究目的に適った十分な研究成果が得られたものと評価する。

<参考意見>

1. 本研究は、事故分析のためのデータベースと分析システムを構築したことについて高く評価される。
2. 今後は、個々の事故事例に着目した詳細な分析への発展を期待する。例えば、事故要因分析では、道路要因、交通要因を明示的に説明変数に組み込み、より詳細な分析を行うことを検討されたい。
3. 道路政策への活用には、事故データの継続的な入力が必要と考えられ、そのための方法を検討することが望まれる。
4. プローブデータと事故データの統合データベースについて、今後の検討方針が具体的に示されると望ましい。
5. 「普及」の点で課題とされていた警察関係への情報提供とともに、取締りなどのソフトパワーによる事故減少へと結びつけていただきたい。

※本事後評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第29回新道路技術会議において審議したものである。